

## ＪＩＬＳの今後の取り組みについて

### 「ロジスティクス環境推進センター」設置について

#### 1．設置の目的

ＪＩＬＳの環境に関する取り組みは、１９９７年の「ロジスティクスにおける環境問題研究会」の発足に始まり、１９９９年の環境調和型ロジスティクスマネジメント調査（ＬＥＭＳ）からその活動が本格化した。さらに、２００３年１１月に、ロジスティクスの側面から循環型社会の形成に寄与するため、「ロジスティクス環境会議」を立ち上げ、行政、産業界、学界等との連携を強化した活動を展開している。

このような状況のもと、２００５年２月には京都議定書が発効するなど、国内外における二酸化炭素を中心とした環境負荷低減の取り組みが進展している中、ＪＩＬＳとして、さらに活動を強化するため、協会内に「ロジスティクス環境推進センター」を設置する。

#### 2．センターの機能と役割

##### 1) ロジスティクス環境会議の運営

- ・ 2005 年度の会議運営と調査研究
- ・ 2006 年度以降の企画開発と関連事業の推進など

##### 2) 関係各省ならびに関係団体との連携推進

- ・ グリーン物流パートナーシップ会議の推進など

#### 3．センターの事業活動

##### 1) 産・官・学の情報収集と情報発信

##### 2) 関係データの収集と情報発信

- ・ 企業の環境パフォーマンスの算定状況など

##### 3) 環境報告書の作成ガイド

- ・ ロジスティクス版環境報告書作成ガイドなど

##### 4) 人材育成プログラムの企画開発・提供

- ・ ロジスティクス環境管理資格制度のカリキュラム開発など

##### 5) 啓発・普及ツール（マニュアル、事例集、調査報告書等）の情報発信

##### 6) 海外関係機関・企業との情報交流

##### 7) その他